

第 9 回八代地域審議会発言要旨

委 員	事 務 局
住民自治によるまちづくり行動計画（素案）について	
<p>この地域協議会のモデルのメンバーと総社教のメンバーが一致しているが、今後、総社教との関連はどのようになるのか。</p>	<p>地域協議会は、新たな組織づくりをお願いするということだが、旧市においては総社教がある。旧町村において、総社教はないため、新たにつくっていただく。</p> <p>以前、提言いただいたときにお話したが、旧市においては総社教をうまく使っていただく。これからは、自分たちでその地域のまちづくりの方向性を決め、実施する団体と考えているため、総社教は発展的に移行していただく形を考えている。</p>
<p>総社教とは目的が違うから、総社教とは別に協議会をつくるという方向か。総社教はそのまま残すということか。</p>	<p>総社教は、教育分野で活動を行うことが前提だが、これからのまちづくりは教育委員会ということではなく、環境や防犯の問題もある。教育の範疇を超えた活動も実際にされているため、それも含めた活動組織、新たな自治組織をつくっていただければと考えている。</p>
<p>総社教を発展的解消して、地域協議会をつくりなさいと聞こえるが。</p>	<p>そのほうが1番やりやすいかと思っている。</p>
<p>いい言葉に乗るから困る。委員が言ったことに乗れば、あっちで説明したことと、こっちで説明したことの食違いが出てくる。</p> <p>旧市においては、総社教を母体にして発展させていくことが1番スムーズに移行していく。旧八代市は各種団体が総ぐるみで総社教に入っているからやりやすい。はっきり説明して欲しい。</p>	

委員	事務局
<p>地域協議会は、今まで総社教はそういう（連絡調整の会議）話だった。今度は、実働段階に移るという解釈か。</p>	<p>実働できる組織を作っていただくということ。</p>
<p>総社教の意味はわかるが、総社教を理解している人が校区民の何パーセントいるのか。こういう会議に出るから、いろいろな意見が出るが、実際、総社教を何割くらいが知っているのか。</p> <p>10歳代や20歳代、いろいろな人から意見を聞かないと、大きな間違いを起こして踏み外すのではないか。目標の文言だけならいいけど、資金的に大変な問題だ。</p> <p>「総社教」という校区もあれば、「新たに作ってくれ」という組織もある。各町内・校区によく説明しないといけない。</p> <p>夢を語るだけならいいが、実際に補助金の窓口が将来的に1本と言った時、ケースバイケースで受けるような校区が出てくると思う。助成金カットの時代に助成金をやりたくないための施策じゃないのかという意見が出るのじゃないか。あれだけ決めたのに、これだけしかお金がこなかったと言われたら、結局は逃げてしまう人が多い。よく説明しておかないと、ポンとこれを持っていったら、「とんでもない」と言われるのではないか。</p>	<p>今後の想定スケジュールで、各種団体連絡協議会の開催をご提案している。このなかに校区長も参加をしていただき、そして地域に入っていきたいと考えている。行政が押し付けにならないように、市民の皆さんから意見をもらう。代表者会議に校区長に出していただき、そして校区に入り、住民へ説明をして意見をもらう形式を考えている。</p> <p>協議会の立ち上げの件で、総社教などいろいろな意見が出ているが、基本的にはその地域の方の意見を基に、どういった組織づくりが1番いいのかということも、地域ごとに話し合いをしていただくようにしているので、決して総社教を反映したところで作りにくいということではない。</p> <p>住民自治によるまちづくりは、地域の方々がやっていただくということであるから、決して押し付けではないということでご理解をいただきたい。</p> <p>冊子の21ページでは、こういう方向で準備をして、立ち上げたらどうかという例を書いており、地域協議会を立ち上げていく手順を説明している。その行の4行目、その立ち上げにあたっては、市政協力員や町内会長が鍵を握るということ。</p> <p>まずは小学校区内で、市政協力員の集まりなどで組織の立ち上げに向けた取組みをやりましょう、検討にあたっては、その地域内で活動をしている各種活動団体も入れて協議をしていただき、</p>
<p>組織づくりにあたって、総社教を発展段階で育てていけばいいと言ったが、やっぱり地域によって何を母体にして行うかは違う。答えるときは、総社教を発展させてもいい、新たに組織づくりをしてもいいという説明をしないといけない。地域に合った組織をつくりなさいと言うことがベターと思う。</p>	

委員	事務局
<p>八代市がお金がない状態というのが1番の問題ではないのか。</p> <p>協議会を立ち上げるということは、やる気がある町内には助成するという考えが市役所にはあるのではないか。きちんとした資料を持って、計画を持ってやる段取りができれば、上げるというシステムじゃないのか。だから、最初からどうこう言う前に、まず町内に持ち帰って、「こういうシステムになったから、やる気を出せばお金が来る」と持っていけば、町内から意見も出るし、案もでるのではないか。</p>	<p>立ち上げに取組んでいこうという書き方をさせていただいている。地域の代表が集まっていたら、この地域はどのような方向での組織づくりがいいのかまで含めて話をいただく。</p> <p>校区のエリア、旧市の場合にはそれぞれ小学校区とほぼ一体になっているが、旧町村では、1つの小学校校区ではなく複数校区を束ねたほうが良いなどがある。小学校が統合されているので従来の旧小学校区単位が良いという地域もあると聞いている。それは、その地域に応じた判断をしていただきたいと考えている。</p>
<p>やる気のある町内には助成金を出すというのは、全く違う。そうなったら困る。</p>	
<p>ある程度の温度差はあるから、きちんとした資料と計画があつて、今までのように何かして終わりではないという意味。</p> <p>一生懸命やっている町内は、すごいと思う。それを目標に皆さんが盛り上がっていけばいいと思った。</p>	
<p>同じ市民だから、町内の格差が出てきたらダメだ。</p>	
<p>格差を作るための施策ではない。助成金を、いろいろな分野で動かす校区と、何年かごとに絞る校区という格差は仕方がないがサービスの的には一緒になければいけない。</p> <p>委員でも説明を聞いて、これだけ受け取り方が違う。何か基本例を持って行って説明しないと、やはり難しい。</p>	
<p>地域協議会は、立ち上げる際に校区のどこに対して言うのか。総社教か、校区長か。私は、総社教が発展的解消していくのが1番よいと個人の考えでは思う。</p>	

委 員	事 務 局
<p>総社教は教育委員会の管轄。市長部局の校区長が音頭とりをしてもらわないと大変。</p> <p>私の校区の場合、金が絡むことは市政協力員。各校区で違うが、自分の校区は校区長を通じて、それを総社教がバックアップしていくほうがいいと思う。</p>	<p>(P. 2 ~ 3 参 照)</p>
<p>この審議会の中に各校区長を入れて、こういう勉強会を1回したほうがいいのではないかと。どこかの校区にポンと持っていった場合に、「それはどこで決まったのか」と聞かれて、「審議会です」と会議した」と言われれば校区に帰る顔がない。</p> <p>金が潤沢に有り余っていればいいが、助成金がカットになった時代だから説明の仕方をちゃんとしないといけない。</p> <p>国・県も助成金がずっとカットになっていく時代だから、我々も受け入れなければいけない。お金がないということは分かっているのだから、受け入れるに足る説明をよく検討しなければいけない。</p>	
<p>若手の人も入れないといけない。今から20年30年暮らす人たちの意見も最初から聞いてあげないといけない。</p> <p>朝の9時半から会議と言われても、簡単には揃わない。本当に地区へ入っていくのなら、その地区の時間帯に合わせて行政も入っていかないと。朝の10時や夕方5時からと言われても、地域によっては誰もいない時間帯になるかもしれない。行政もきついかもかもしれないが、最初の説明が肝心だから、できるだけ多くの人たちが参加する時間帯を調べて行かないといけない。</p>	<p>説明会の時間帯は、校区長や市政協力員の方へ相談しながら、1番、人が集まる時間帯に入らせていただきたい。</p>

委員	事務局
<p>合併により、まだ地域が整備されていない所が多くあると思う。住民に説明するときに、大変それを心配している。住民への説明にあたっては十分配慮しながら、旧郡と旧市の地域の状況も踏まえて説明していかないと綻んでくるのではないか。</p>	
<p>総社教は教育委員会だが、今、公民館主事が各公民館に配置されている。今度、まちづくりが整備されるにあたり、市長部局のほうに移行していくのか。そういう予定なのか。</p>	<p>公民館主事は教育委員会の仕事のみならず、行政全般の仕事を行っているのが現状。将来的には、まちづくりに関しては全般的なことになるため、市長部局の職員として配置ができればと検討している。</p>
<p>公民館主事は、今は一人ずつ配置されているが、各公民館に配置されるのか。</p>	<p>当面は現状のまま配置し、将来的には地域の協議会が充実してきて、自分たちでやれるという時期には、1人で何ヶ所か掛け持ちするといった方向にはなってくると思う。当面は、現状を維持。</p>
<p>今後の想定スケジュールは、もうこれで行くのか。二転三転することはないか。</p>	<p>どうしても行政主導ではなく、地域や住民の方々の理解を得なければ先に進まない。住民の方々の意見を聞く時間をできるだけ多く組み、この行動計画を一緒に作り上げて進まなければ行政が押し付けという形になる。</p>
<p>これまで、二転三転して変わっているから（確認した）。これで行くと言っていい。そうすると、皆さんにも説明がしやすい。まだスケジュールが変わりそうとは言いたくはない。</p>	<p>このスケジュールを基に進めさせていただきたい。</p>
<p>5ページの自主財源の確保とは、何を想定してあるのか。</p>	<p>活動を行うためには、当然、経費が必要になってくる。行政はこれまで補助金という形で支援をしてきているが、これはあくまで、活動の一部を助成するという基本的原則がある。100パーセントの補助は、これまでもなかったと思う。やはり、地域の活</p>

委員	事務局
	<p>動を行っていくには、それだけ自主財源の確保が必要となってくる。上段に行政からの補助とあるが、一部の支援を行政で行うということでご理解いただきたい。</p> <p>自主財源を確保する方法として、いろいろな校区で公園の管理を委託という形で受けられている。それを協議会でやるといったこと。公民館で祭とかバザーなどされているが、それらをうまく使うことによって財源の一部にしていくことも、自主財源の確保の仕方だと思う。行政も役割として、八代市以外の地域のいろいろな情報を提供していきたい。</p> <p>1つの地域の例としては、アルミ缶の回収をやって地域の財源にしているところもある。それも自主財源の1つと考えている。</p>
<p>行政は、厳しいという答えではなく、厳しいが故にこうしてくださいという答えをすべき。いろいろな意見を聞いた後に、財政が厳しいからという答えなら、もう会議する意味がない。厳しいけれども、どうにかしてやりたいという考えなら、協働という考えもでる。</p>	
<p>市の教育委員会で活動をしてきたが、「前例がないとできない」という答えが非常に多かった。前例がないから新しい企画をしないということではなく、市民のためになることであれば、しっかり予算を取る努力をしていただきたい。そういう発想が行政にないことが、非常に残念。</p>	